

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	新生児黄疸における経皮ビリルビン値と血清ビリルビン値との乖離に影響する因子の検討 [倫理審査受付番号：第 5092 号]
研究責任者氏名	竹島 泰弘
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025 年 7 月 25 日 ~ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	兵庫医科大学病院周産期センターに入院した新生児 / 診療科名等： 小児科
	受診日：西暦 2023 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☐ その他（ ）
	取得の方法： ☒ 診療の過程で取得 ☐ その他（ ）
研究目的・意義	赤ちゃんの黄疸（おうだん）を調べる方法のひとつに、「経皮ビリルビン測定（けいひビリルビンそくてい）」という検査があります。これは、赤ちゃんの皮ふに機械を当てて、ビリルビンという黄疸のもとになる物質の量を調べる方法で、血液をとる必要がないため、赤ちゃんにやさしい検査です。 ただし、血液中のビリルビンの量がとても多くなる、などさまざまな状態で、この検査だけでは正しく測れないことがあると報告されています。 この研究では、「どのような場合に経皮ビリルビン測定の結果が正しくなくなるのか」を調べて、赤ちゃんの黄疸をより正確に評価できるようにすることを目的としています。
研究の方法	本研究では、2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日に兵庫医科大学病院周産期センターNICU・GCU 病棟に入院し、黄疸の評価のため皮ふの上から行う機械による黄疸の検査（経皮ビリルビン測定）と血液検査を受けた赤ちゃんを対象としています。赤ちゃんの診療記録をもとに、性別、出産の週数（在胎週数）や出生時の体重、分娩方法、血液中のビリルビンの値とその検査をした日時、皮ふから測ったビリルビンの値とその検査日時を調べさせていただきます。

	収集したデータを用いて統計解析を行い、経皮ビリルビン測定の結果と血液中のビリルビンの量との差に影響を与える因子を調べます。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	兵庫医科大学病院小児科 主任教授 竹島泰弘 (平日 8 時 30 分 ~ 17 時) 0 7 9 8 - 4 5 - 6 2 2 0 (小児科外来) 0 7 9 8 - 4 5 - 6 7 1 2 (NICU 病棟) (夜間・休日上記時間以外) 0 7 9 8 - 4 5 - 6 1 1 1 (大代表)